

37のみんな さんな



2020（令和2）年6月5日
福山市立山南小学校
校長 四良丸 優子

学校が再開して一週間が経ちました。「3つの密」を徹底的に避ける「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつの学校生活です。保護者の皆様には「命を守る取組」として、毎日の健康観察カードの提出に伴い、検温、そして体調のチェック、食事や睡眠など体調管理にご協力いただき、感謝しています。

子どもたちは元気よく挨拶をして登校し、玄関に入ってきたところから「距離を保つこと」を意識しています。その子どもたちの数も増えてきています。また、1時間ごとの「手洗い」や外から帰ってきたときの「手洗い」もくっつかないことを意識しています。そして、運動場に出る時は熱中症対策として、水筒、マスク入れ、タオルを入れた「お出かけセット」を持って行っています。登校時・下校時、そして日中はあまりの暑さに「マスクをすること」が難しい時があります。その際にはできるだけ「距離を保つこと」や「大きな声で話さない」など意識するようにしています。1日ごとに自分で考えて行動できる姿が多くなり、みんなで乗り越えていることを実感しています。



授業は40分を目安に休み中の家庭学習を生かしてつなげることを意識した学習を行っています。

1年生…学校中を探検し、先生に名前を聞いてひらがなで書く活動をしました。

2年生…ミニトマトの観察をしたり、自分の目標を教室で決めてグラウンドで走ったりしました。

3年生…休み中にしてきた計算の意味を確認する授業の後、食事中は話さないということを守り、山南小学校で一番人数が多い25人の教室は静かで、はしと茶碗の音だけがしていました。(意識の高さを感じています。)

4年生…見つけ学習でしたことをクラスの友だちに出題して解き合う活動をしています。

5年生…1週間の予定表をもとに自分で学習の計画を立てて学習しています。

6年生…休業中に学習した1年分の漢字の力試しをいつするか期日を自分たちで決めて実施します。

第2週目も、子どもたちのコロナウィルス感染に対する不安を少しでも取り除き、命を最優先に守る対策を続けていきます。

また、保護者の皆様と休み中の子どもたちの様子 また 学校での子どもたちの様子を共有してさらに改善することを共に考える機会として「学校へ行ってみよう週間」をします。いろいろなことが例年通りできない状況ですが、そんな時だからこそどう工夫すれば実施できるのか、常に考えて日々を過ごしていきます。

休業中には数回のアンケートへの回答にご協力いただき、ありがとうございました。その結果を参考に子どもたちの授業中、休憩中の様子を見ながら面談して気持ちに寄り添っています。子どもたちの心の状況、困っていること、不安に思っていること、解決して行くように努めています。

本日、各学級で話をしたところ、家で過ごしているほうが自由でいいと思っている子どもたちもいますが、この5日間、友だちと会えた喜び、友だちと学習する感覚を再確認している様子でした。なかには「コロナ感染がこわい」と不安を抱いている様子もありました。改めて、感染予防をすることはどういうことかを共に考えて、自分も友だちも大切にする行動ができる山南小学校の子どもたちであってほしいと願っています。週末はご家庭でゆっくり休んでください。そして、しっかり話してください。

子どもたちが毎日元気に過ごすために、これからも全教職員で進めていきます。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。